

2019年度 U28 全国YOC研修 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020
●日程	令和2年1月7日 (火) ~ 令和2年1月8日 (水)
●会場	スカイホール豊田
●講師	宇田川氏 ・ 阿部氏 ・ 湯浅氏 ・ 上田氏 ・ 平出氏 加藤氏 ・ 漆間氏 ・ 堀内氏 ・ 尾形氏
●スケジュール	令和2年1月7日 (火)
	9:00 開講式・審判担当ダイレクター挨拶・講師紹介 講義①「インテグリティについて」 宇田川氏 講義②「3POメカニクスについて」尾形氏・平出氏・堀内氏 講義③「映像検証 英語でのディスカッションとプレゼンテーション」 上田氏・漆間氏・加藤氏
	12:00 昼食
	12:30 実技開始
	18:45 講義④「FIBA/プロフェッショナルレフリーの取り組み」 漆間氏・加藤氏 20:00 終了
	令和2年1月8日 (水)
	9:00 閉講式 ・ 審判担当ダイレクター挨拶 9:00(E/Fコート)実技開始 9:30(メインコート)実技開始 担当試合終了後、各自解散

●担当試合	令和2年1月7日 (火) ①14:00～ ②17:00～		
	対戦カード	U15 川崎ブレイブサンダース VS シーホース三河 U15	
	主審	CC:山田氏 (愛媛) U1:長谷川氏 (北海道) U2:重松 (大阪)	
	講師／主任	平出氏	
	対戦カード	宇都宮ブレックス U15 VS 秋田ノーザンハピネッツ U15	
	主審	CC:重松 (大阪) U1:永富氏 (長野) U2:野村氏 (高知)	
	講師／主任	上田氏	
	令和2年1月8日 (水) 13:00～		
	対戦カード	新潟アルビレックスBB U15 VS 琉球ゴールデンキングス U15	
	主審	CC:重松 (大阪) U1:永富氏 (長野) U2:内田氏 (三重)	
	講師／主任	加藤氏	
	講評	・セットアップポジション、クローズダウンポジションをもう少し使い分けるとよりメリハリが出て見栄えが良くなり判定につながる。早く入ろうとする意識はあるが、最終の所でスローダウンをしているため、まずはベースラインまでダッシュでいくところからでも遅くはない。ベーシックを積み重ねていくと良い。 ・ファールコールしたプレーをどれぐらい長く捉えているかが、ノーマスでの確な判定につながる。瞬間的に捉えない事が大事である。 ・TOやベンチ、選手とコミュニケーションをとることはクリーンザゲームにつながる。 ・アウトオブバウンズがわからずクレーに助けを求め、クレーの対応の早さが選手やベンチからのアピールを防げていた事が良かった。さらによくするならば、求めた時のジェスチャーを大きくはっきりするとよりよくなる。 ・積極的にコートでコンスタントにレフェリーできる準備をして挑むと安定した姿になるのではないかと思います。 ・アンスポーツマンライクファールが起こった時にはクライテリアの確認を必ずするようにする事。また、ボールがデッドになったときやシュートモーションに入っている時のコンタクトなど注意深くみる事がより良い判定につながる。 ・ファールコールをした時にPOCは何かなど細かく具体的に答えられるようにもっておく事が大事である。	
	自己の感想	大きな大会で初めてクレーチーフとして割当をいただいたり、全国から集まる仲間としっかり準備をしてこの試合に臨みました。PGCでは、この試合の位置づけやインテグリティ、メカの事などについて話をしました。試合中は、クレーとコミュニケーションを取りながらレフリーをすることが出来ましたが、個人的な課題は多いように思います。リード、トレイル、センターのポジションアジャストをベーシックにコートに立つ3人が積み重ねていくことが大事であることや、また、プレーコーリングや競技規則にあるルールをもとにしっかりと判定していくこと、自分やクレーを守る正しい判定をしていく事のリスクマネジメントを意識し続けて、後には無意識に取り組める力をつける事が大切だと考えさせていただきました。そのために、今すぐにできることや常にコート上で確認しあう事と映像で振り返りをする事で次につながる準備となるのだと思います。 最後になりましたが、多忙な中ご指導いただいた講師の方々、今回の経験をさせていただいた方が心から感謝申し上げます。最高の仲間と出会ったことを大切に今後のレフェリー活動に活かしていきます。本当にありがとうございました。	